

台湾 8 ● 台湾の原住民族 1

台湾の原住民族(先住民族)は、漢民族が17世紀頃より中国大陸から移住する前から台湾に住んでいた人たちの子孫で、現在、政府から認定された16の民族、およそ約55万人がそれぞれ独自の言語や風習を守って生活しています。山地の開発や年々都市部へ移住する人々が多くなっていますが、独自の伝統文化の継承がますます重視されています。

■制作協力：台北駐日経済文化代表処／写真と文：萩原正人

産経 子ども ニュース 育て！子どもたち
台湾シリーズ感想募集中

日本のお隣、台湾の情報を12回にわたり発行します。
みんなの感想を大募集！
感想を送ってくれた方には、フジテレビのグッズを全員にプレゼントします。

QRコードがホームページからアクセスしてね！
<http://www.sankeikids.com/>

台湾シリーズは下記のホームページで見られます。
台北駐日経済文化代表処ホームページ
<http://www.roc-taiwan.org/jp>
産経子どもニュース「育て！子どもたち」
<http://www.sankeikids.com>



標高 1000 ｍを超える山岳地帯の霧台郷。原住民族・ルカイ族の人々が静かに暮らす



霧台基督長老教会。原住民族はキリスト教徒が多い



民家や道は独特の彫刻や焼き物で飾られている



元気な高齢者が多い。左のおばあさんは 91 歳だが畑仕事に従事している

台湾南部の中央山脈に位置し、標高1000メートルを超える屏東県霧台郷には3300人の原住民族・ルカイ族の人々が静かに暮らしています。石板を使った家屋、彫刻が施された壁、陶器の壺で飾られた道など、独特の文化が息づいています。